

「コロナ禍での施設の取り組み」

～岡保きらめき編～

「今だからこそ、できることがあるはず」
 岡保きらめきにて、これまで行ってきた活動からカタチを替えて行っている様子や、新たな取り組みを紹介します。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域での活動自粛が続いています。それに伴いこれまで行ってきた活動や、ちよつとした外出が気軽にできなくなり、このまま制限が続くと利用者の活動量が減ることになり、体の機能や気力の低下につながりかねません。そこで私たちは「何もしい」ではなく、「何ができるか」を地域の方々、利用者のみなさんと考え、「今だからこそできる」活動を行っています。

オンラインによる地域サロンへ

岡保きらめきのグループホームではこれまで月に1回、福井市曾万布町の地域住民、利用者、職員、約30人が集い、あつたかサロン(美味しいコーヒーを飲んで楽しむ会)や、



お茶会、健康体操などのサロン活動を行ってきました。コロナ禍で集まれなくなつてから、きらめきでは地域の方々とし合い、これまでのつながりが途絶えないよう、オンラインにカタチを替えた地域サロンを開催し、利用者のみなさんも参加しています。

きらめき工房～手作りマスク～

「世の中がこんなに大変な状況の中で、何か自分たちのできることをしたい」という利用者の声から、2020年1月「きらめき工房」を立ち上げ、みんなで協力し合いながらマスク作りを始めました。地域の園児たちに116枚、社会福祉協議会に60



枚のマスクを贈呈。また、購入を希望される方やメディアを通じて、これまで1037枚を販売してきました。現在はエコバッグにも使える「あつま袋」や「コースター」を製作し、ネットを中心として販売を行っております。

取り巻く環境の変化から新たな方法を見出し、活動を継続する一方で、新たな活動へとつながりつつあります。これからもみなさんと共に、今だからこそできる活動を行っていきたいと思えます。



岡保きらめき
施設長 岡田 直子

岡保きらめき

TEL.0776-52-0830
 時間/9:00～17:00
 (月～金)



岡保きらめき
Facebook
Instagram